

角高だより

HP <https://kakuko.myswan.ed.jp/> Email kakuko@od.myswan.ed.jp



宮城県角田高等学校
〒981-1505
宮城県角田市角田字牛館1
☎ 0224-63-3001
FAX 0224-63-0523

角田高等学校サマーカレッジ

8月6日(金)本校を会場に令和3年度角田高等学校サマーカレッジが実施されました。この事業は高大連携事業に係る地域公開講座ということで宮城県教育委員会の主催で企画されたもので、地域の高校生向けに行われるものです。今回は、大学の先生5名を招いてそれぞれの専門分野に関する講義を行っていただきました。60名の参加者のほとんどが角田高校生とその保護者でしたが、外部からも20名ほどの高校生・保護者が参加しました。講義の内容は空き家利用や災害と看護など地域の課題に焦点を当てたものや「宮城県民の体格はこのままで大丈夫?」というテーマで肥満の多い宮城県民を栄養学の面から考えるといったものなどがありました。TBCラジオ・グッドモーニングのニュースクローズアップで以前コメンテーターを担当していた東北学院大学の千葉昭彦先生は「農村の経済問題は農業で理解できるのか」というテーマで日本の農業と農業政策の現状と食の安全性やスローフード運動について分かりやすく興味深い話題を提供してくださいました。参加者の中には、大学時代に講師の先生のゼミ生だったので懐かしくて参加したという方もおり、講義後に先生と昔話に花を咲かせていました。



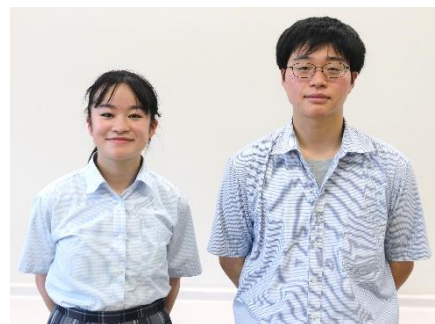
第15回角高美術展

8月7日(土)8日(日)の2日間に角田市市民センター201 会議室を会場に第15回角高美術展を開催しました。昨年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止を余儀なくされたため、2年ぶりの開催となりました。15点の作品が展示され、1年生は静物画、2・3年生は角田の日常的な風景画や建物の中を魚が泳ぐ幻想的な絵画など嗜好によって工夫をしたものもあり、たいへん見応えのある作品が並びました。



JAXA主催 角田エアロスペーススクール2021

8月3日(火)～5日(木)の3日間で宇宙航空研究開発機構(JAXA)主催の「角田エアロスペーススクール2021」が開催され、本校より3年の雨宮悠人さん(北角田中出身)と2年の川端萌菜さん(丸森中出身)が参加しました。例年と違って今年はオンラインでの参加となったため、参加人数も従来の12名から20名と多くなり、北は秋田県から南は広島県までの高校生が参加しました。本校も地元枠として、本来は1名参加のところを2名に枠を広げて参加させていただきました。内容は講義・見学・実習・交流会など盛りだくさんで、参加した生徒はJAXA職員や参加した高校生から様々な刺激を受けてきたようです。



川端萌菜さんと雨宮悠人さん

角田エアロスペーススクール2021に参加して

角田高校2年 川端萌菜

角田エアロスペーススクールに参加してたくさんのお話を学びました。講義を聴いて、宇宙に行くということは本当に大変なことなのだということが分かりました。重力に逆らって大気圏外に行くためには、効率よくエネルギーを使う必要がありますが、複雑なエンジンの中で膨大なエネルギーを扱うため、きちんと計算しなければ壊れてしまいます。エンジンの中には多くの部品があり、それぞれに実験する人、設計する人、作る人とたくさんの方が携わっています。これはロケット以外の製品にも言えることです。チーム一体となって一つのものを作りあげるといことはやはり素晴らしいことだと思いました。講師の方の「皆、自分の担当している部位が一番大事だと言うと思う。」という言葉には熱意が感じられてとても素敵だと思いました。講師の方々には皆生き生きと語りかけてくださり、私たちに理解してもらいたいと思いつつながら講義して下さったのが伝わりました。内容は難しかったのですが、話は分かりやすかったので多くのことを学ぶことができました。

また、グループ活動で他の参加者の方たちの話を聞いたことはとても刺激になりました。同じ班の人たちとは、プレゼン作成をする中でとても助けられました。私は宇宙に関する知識は無いに等しく、意見をもらいながらスライドと原稿を作りました。作成に与えられた時間は少なく、プログラムが終わった後や次の日の朝の時間も使ってなんとか完成させることができました。協力して課題に取り組む中で班員と少しずつ仲良くなれてうれしかったです。なんと5班あるうち3班がスペースデブリ、宇宙ゴミについて取り上げていましたが、どの班も視点が違ってとても面白かったです。そして、個人的に印象に残ったのは、宇宙でクイディッチをするというアイデアです。私はハリーポッターが大好きなので、この話を聞いたときはわくわくしました。講師の方からは、今の技術では箒に推進力を持たせるのは難しいけれど、宇宙でスポーツをするというアイデアは良いという講評を受けていました。講師の方々には、私たちの考えを否定するようなことは一言も言わず、的確なアドバイスと感想を述べてくださいました。それどころか「自分たちは考える前に無理だと決めつけてしまうことが多いので、若者の考え方を聞くことは頭が柔らかくなってとても良かった」とおっしゃってくださいました。

「今回は初のオンライン開催で不備が多く申し訳なかった」と事務担当の方はおっしゃっていましたが、そんなことは無かったと思います。むしろ、オンラインでの良さもたくさんありました。例えば、実際の対面講義よりも質問がしやすい環境になりました。中にはすべての講義や発表に質問をするほど積極的な参加者もいました。また、同じグループで遠くに住んでいた人は、オンラインでなかったら参加できなかったと言っていました。また、オンラインのため募集定員を例年より8名増やすことができたそうです。裏方に努めた方々の努力があってこそ、このプログラムはとても充実したものになったのだと改めて感じました。JAXAの職員は、理系の方だけというわけではなく、文系の方もたくさんいらっしゃいます。必要なのは研究だけでなく、事務や営業、設備の管理も専門の方が行っています。講師の中には、元は企業に勤めていた方や、本当は他に就きたい仕事があったのだけれどコロナの影響で社員の受け入れがされず、成り行きで入社したのだという方もいらっしゃいました。しかし、人生はなかなか思い通りにはならないが、自分が思っていた形とは違っても、そこにに関わり仲間と一緒に仕事することはそれはそれで楽しいとおっしゃっていました。そのような話を聞いたのは初めてで、とても勇気づけられました。うまくいかないことがあっても、自分がやりたいことを見つめて努力しようと思います。また、一見関係のないことでも、知識を持っていると役に立つということも感じました。自分は、今まで宇宙にあまり興味がありませんでしたが、広い宇宙の視点に立って考えてみると、地球の見方もずいぶん変わるかもしれないと思いました。これからも、積極的にたくさんのお話を学び、自分の視野を広げていきたいと思いました。

KDGs (角田高校・持続可能な開発目標) ロゴ

角田高校1年次「総合的な探究の時間」で作成しているロゴです。本家SDGsの17個を目指しています。

